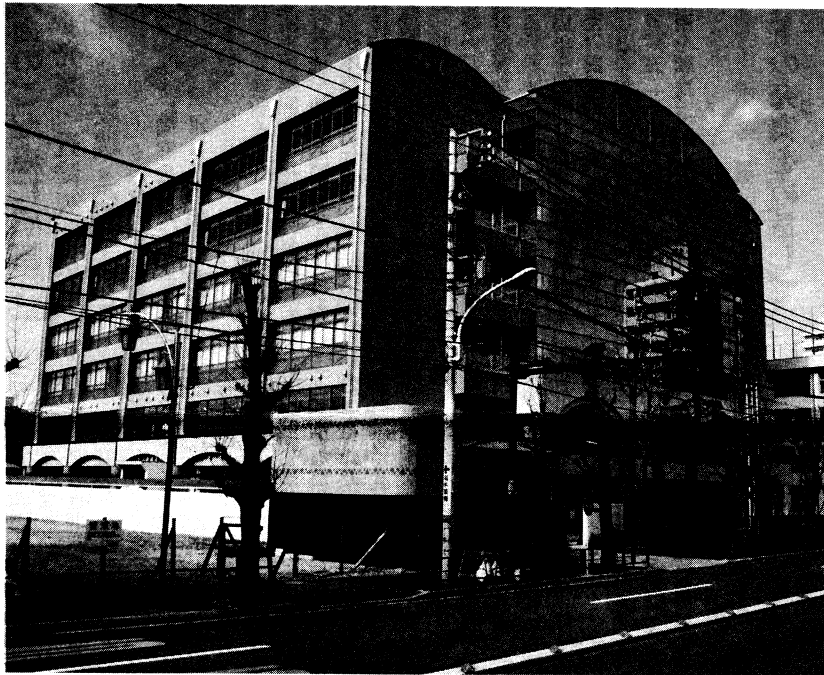
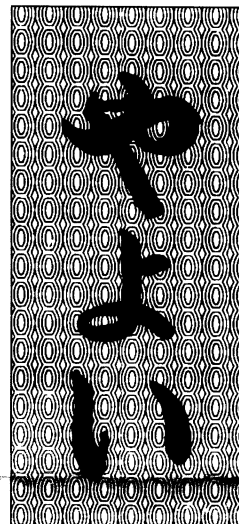


○同窓会発足50周年記念大会開催○



竣工なった校舎前景（平成10年3月）



発行責任者
都立向丘高校同窓会
会長 小川 力 洋
編集 広報委員会
事務局 〒113-0023
東京都文京区向丘1-11-18
向丘高校内
TEL 3811-2022
FAX 3812-4055

① 記念コンサート会 4月29日(水) みどりの日

明治大学マンドリンクラブ (OB) 出演

【会場】 母校新校舎 6 階ホール ●上履きを持参の上、ご来場下さい。

【曲目】 懐メロディ集・古賀メロディ集・ポピュラーメロディ集等

【受付】 12:30～ 【開演】 13:00～ 【終了予定】 14:15

【参加費】 ￥1,000 (記念品付) 【対象】 同窓生・在校生・父母・一般

【申込期限】 4月20日(月)迄。振込完了をもってお申込とさせていただきます (同封の振込用紙を使用。)

郵便振替口座／番号00110-9-538513 名称／都立向丘高校同窓会

※払込票兼受領証を入場券といたします。(また当日払いも可。ただし、事前要予約)

② 新校舎見学会 14:30～ 新館 (A 棟) ・改装館 (B 棟)

③ 総 会 15:30～ 視聴覚室 4 階 (B 棟)

④ 懇 親 会 16:00～ 6 階ホール (A 棟)

【参加費】 ￥3,000 (但し、平成9・10年3月卒業生は￥1,500)

★ホームカミング会

【日時】 9月27日(日) 向陵祭参観後 PM3:00～ 【申込先】 会長宅

【参加費】 ￥2,000 (当日払い) 〒114-0012 北区田端新町1-27-11

※軽食の用意をいたします。

TEL 03-3893-9792

【会場】 母校 6 階ホール

FAX 03-3893-9793

【申込】 9月20日までにTEL・FAXまたはハガキ (会長宅宛) にて要予約

各方面のご配慮に感謝

発案・近隣説明会

取壊・建設へと



同窓会長

小川 力洋

創立四十周年記念を新城昇校長の元で打ち上げた後、池永武昭校長となり校舎改築計画が本格化した。

北村透校長を迎えた平成六年九月から仮校舎授業となった。改築委員長として、稲垣希・島居雄司・古田眞先生方が熱心に引き継いだ。二十人乗EⅤが三基もあり、都財政豊なりし、良き時代の申し子と云える。

五十周年を記念して第二弾総合名簿を発刊した。前総会にてこれを卒業記念品とすることを決定した。半世紀で卒業生総数一五、五二一名となった。今後の発展に活用を願う。

ソフトの充実をめざして



校長

北村 正生

同窓会会員の皆さんこんにちは。永年になたって工事が行われていました本校の改築工事は終り、新校舎が一月末に学校側に引き渡されました。二月九日から

引越し、十六日から新校舎での授業が始まります。プレハブには約三年半お世話になりました。この間、卒業生の方にもご不自由をおかけいたしました。特に、今春卒業されます皆さんには、ほぼ三年間にわたっての仮校舎生活で大変申し訳ない気持ちでいっぱいです。

新校舎は、狭くて複雑な校地という条件下で、設計に工夫を重ね建設されました。周囲に馴染んだシックな外観、そして機能的な部屋割りなど、皆さんに気に入っていただけたと思います。

新校舎をA棟と呼びます。六階建て、冷暖房完備、エレベーターは三基で、一階は事務室、校長室、二十八畳の和室、保健室など、二階に図書館、職員室など、三、四、五階が各学年の教室、六階が多目的のホールです。この他にマルチメディア教室、L.L.教室、実験室や実習室、音楽室などもあります。

旧三号館をB棟と呼びますが、A棟とは二、三階でつながっていて、視聴覚教室、給食室、部室、教科の準備室、個別学習室などがあります。こちらは改修ですがすっかり新しくなりました。今後は、グラウンド工事など外部の工事が十二月末まで行われます。

新校舎改築 五十周年記念式典、祝賀会を十月十日に盛大に挙行することとで、準備をすすめております。同窓会の皆様にもご協力いただくこととなりますが、その節はよろしくお願いいたします。新しい標準服の着用が開始され、入学選抜の倍率が、普通科でトップの勢いに乗って、向丘高校はますます上昇中です。今後も、立派なハード（施設設備）に負

けないソフト（教育活動）を目指し職員一同頑張る、本校の更なる発展・充実を図っていききたいと思っておりますので、どうぞご支援下さい。

最後になりますが、新校舎の改築に對しまして、保護者の皆様、地域の皆様、そして同窓会の皆様のあたたかいご理解とご協力に對し、心よりお礼申し上げます。

半世紀で器が変り

心もリフレッシュ!!

さあ集おうOBよ!!

書記 S31 卒 山本(福永)越子

向丘高校卒業生の皆さん、本年四月二十九日には是非母校へお集まり下さい。

何を今更改めて、とおっしゃられるでしょうが、今年には同窓会に不義理をしれる人間にとっても同窓会にとっても素晴らしいめぐり合わせの年なのです。

目玉(?)は新校舎完成です。現代の技術への対応は勿論、未来をも見据えた設備完備、どんなものか想像がつかますか? あなたの目で確かめにきてください。焼け跡、木造、モルタル校舎等で果立った大先輩たちには必見です。

あなたは卒業して何年になりますか? 母校は今年創立五十周年を迎えます。半世紀にわたりあの場所です生徒を見つめ、卒業生の訪れを待っていてくれたのです。語り始めたらちよつとやそつとでは終わりません。れつとした近代史です。

平凡だけど、ひとつひとつ積み重ねたあなたの青春前期がそこにあった、それが「向丘」だったでしょう。センチメンタルで言っているわけではありません。ご存じですか? 今、東京都は生徒数の減、都の財政難など諸問題をかかえ、都立高校の統廃合を実施しています。高校のみならず小中学校もほとんど統廃合が進められています。そんな時代の波のなかで校舎が完成し、受験生も全都立高でトップの志願率です。向丘は波を乗り越え、存続、発展することなのです。

ここまで申し上げれば愛校心のちよつぱり薄かったあなたも内心ほっとなさるでしょう。

さあ、四月二十九日のことですが、いままさ、とか、誰も誘う人がいないとか、行ってもひとりて話をする人が居ないのはいやとか思っています。それは大きな間違いです。まわりはみな同窓生確かに知らない人ばかりかもしれません。でも話をしてみてください。卒業年度、教えていただいた先生方、学舎など違っても案外つながりがあるものです。私も今までに何回も思いがけない出会がありました。その度に、真つ直ぐ歩いてきてよかった、世の中決して一人ではないと思ひ知らされました。

陽春の一日、通い慣れた道を歩き直してみても、人生の句読点になるかもしれませんよ。

ぜひ、お待ちしております。



弥生の春は爛漫と……

前校長 北村 透

私、今年三月三十一日付で向丘高校を最後に定年退職いたしました。在職中は、小川会長をはじめ役員の方々には大変お世話になりました。四月からは、地元足立区教育研究所にて嘱託員として教育相談の仕事をしていております。

思えば、向丘高の三年間、校舎改築、校舎引越、遺跡発掘等の貴重な経験をさせていただきました。

また、入試単独選抜、推薦入試、IC事業のインターネット導入等、新生向丘高を目指してまいりました。南北線の開通、六階建新校舎構想。そして、標準服の制定等の追風もあって、地域や中学校からの人気も上昇してまいりました。

これも、偏に、教職員の献身的な努力の結果でもあり、広くPTAや同窓会のご支援とご協力の賜と深く感謝いたしております。

今年度は、創立五十周年と同時に落成記念行事が予定されております。北村正生新校長、そして、島貫範雄新事務長をお迎えし、一層の活気と期待感を持ってまいります。

まさしく、校歌にあります。

「弥生の春は爛漫と……」の向丘高校であることを、去る四月二十九日の同窓会総会でも感じとりました。



入学時(昭和二十八年)の

ありようから今日

S31年卒 三田 昌男

私が入学した昭和二十八年頃はまだ戦後の混乱期でありました。入学式は講堂もなく校庭で行なわれました。校舎は木造モルタル二階建二棟しかなく、渡り通路で結ばれていました。その一階通路際に売店があり、事務用品やコッペパンを売っていました。

二年の時に別棟(一階建)が出来、化学(生物)室と大教室が二室増築しました。二室の間仕切を開けることで、正に講堂役を果し、朝礼など出来る様になりました。

この時代は都電が全盛であり殆どの人が本郷通り都電と白山通の都電に乗り通学していました。

現在は、その通りの下を地下鉄の南北線と三田線が通っております。今年度は六階建の新校舎が本郷通に立派にそびえ建っております。六階には多目的ホールが出来ます。四月二十九日の同窓会総会はこの場所で開催されます。お楽しみにして多数の方の参加をお願い致します。

在校生に喝采

フレハブからビルディングへ

会計監査 S34年卒 石山(佐伯)彼早子

平成九年の年明けに、九十三才の高齢で逝去された小学校の恩師を偲ぶ会が四月にありました。お招きい

ただいたので四十五年振りに母校に行きました。その時の驚きはとう表現してよいかわからない程でした。昔の面影はなく、エレベーターが設置されホテル並の食堂があり明るく素晴らしいものでした。当時の小学校は鉄筋の厳めしい佇まいで薄暗く冷々とした感じで開放的な雰囲気もなく寒々しかったことを覚えていました。歳月の永さをしみじみと思えました。そして懐かしさは微塵もありませんでした。

今度、我向丘高校も新校舎が完成され生まれ変わろうとしています。昭和三十一年に入学した時の校舎は木造二階建てで少し力を入れると床が踏み破られてしまう程のもので今の生徒さん達からは想像もできないことでしょう。校舎改築中のフレハブ教室の方が格段の良さを感じた程です。冷暖房完備ですものね。時代の流れと共に様々なものが変わり進歩している現実を踏まえそれに追いつけるようと心の焦りを感じます。それはそれとして卒業生のひとりとして心から新校舎落成を祝いそして恵まれた環境で学べる子供達に両手で喝采を送ります。

お互いの還暦を祝う

同期会の開催報告

S30年卒 三谷 一郎

平成九年三月二十三日お互いの還暦を祝う同期の仲間が、清澄庭園・大正記念館に集い還暦祝賀同期会を

盛大に開きました。

ほぼ全員が六十才の還暦に到達する三月にお互いの健康と還暦を祝う会を開きたいと多くの人々から希望され企画開催いたしました。

向丘を卒業した時二百五十七名いましたが物故者、音信不通者など、現在百八十名となり今回出席者六十四名、内男性二十名女性四十三名でした。

生憎と肌寒い小雨まじりの天候でしたが開会の一時間以上前から三々五々と集い、皆の再会の喜びと期待の高さを実感しました。

出席予定者全員が元気に出席し明



30年卒同期会 平成9年3月23日 [於：清澄庭園]

るい笑い声が会場に響き、お互いに元気に還暦を祝うほのぼのとした雰囲気が出た。人生の長い道のりをそれぞれが六十年の年輪を重ね、これからの人生の歩みに必要な勇気と励みの灯火を胸のうちに灯し友垣の頼もしさを実感して祝う会を打ち上げにしました。向丘同窓会の役員も参加し新校舎建築の報告などが披露されました。

今回の同期会は七十歳のお祝い会を希望され、益々全員の元気さと若さと意欲を感じお互いの健康を祈りながら再会を約しました。

私たちに続く皆様にも還暦の喜びは巡り来ます。是非計画を立てられてお互いの健康と還暦を祝う会を開かれては如何ですか。

大会場で次回は好企画を模索

S41年卒 長谷川(原)三枝子
第十八期、二回目の同期会を日暮里駅近くのホテルラングウッドで開催しました。一回目の会場が狭かった反省で会場は広めにとり参加人数に融通がきき、準備する側としてはあまり心配がなく楽でした。

会は前回同様、話に花が咲いて話だけで終了してしまい、たいした企画もありませんでした。しかし、次回には企画を考えないといけないように感じます。食事にしても味のよいものを期待するでしょうし、同期生の中には各方面で活躍している方が



41年卒 第2回同期会 [於：ホテルラングウッド]

大勢いらっしゃることでしょう。演奏や講演作品の紹介等を披露していただければと思います。会場も同期生の経営する所や、関係する所で開けたらよいのではないのでしょうか。会を重ねることはもちろん楽しいことですが開き方に課題も生まれます。どうぞ新企画で三回目の開催を我こそはと名のりをあげて下さる方歓迎です。

役員方のご苦労に感謝し協調

S42年卒 石井(松野)裕美子
はじめての出席でした。同期の方はいらっしやらなかったのですが

色々な方にお会い出き、出席して良かったと思っております。

皆様、ご立派におなりになっており、向丘の頃を想い出し楽しいひとときを過ごさせていただきました。主人も向丘出身ですので、今年は、友達にも多数声をかけ大勢で出席したいと思っております。幹事さん、役員さん達のご苦労が目にも見え大変、ありがたく思っております。私達の学年はずい分、同期同志の結婚が多く、(私共もそうです) 楽しかった高校生活、先生方を想い出し、皆様にお会いしたいと心より思いました。今年の懇談会には是非、友達をさそって出席させていただきたく思います。

役員様、幹事様、大変お世話になりました。ありがとうございます。今年、又お会いしたいと思っております。

私共の習った先生方もご出席いただけたら本当にうれしく思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。末筆ながら皆様のご健勝、お祈り申し上げます。

懐かしい語いで楽しかった同窓会

S46年卒 原田(笹山)幸子
昨年、初めて同窓会に参加しました。三年前、長女が向丘を受験しようと思った時、「今の向丘はどうだろう」と思い、同窓会主催のホームカミングに、初めて参加させて頂きました。

あれから三年の年月が過ぎ、あつという間に長女は卒業の時期を迎えました。

「卒業を機に親子で参加してみようよ。」と尻込みする長女を促して、長女の友人と共に参加することになりました。

当日は、汗ばむ程度のすがすがしいお天気でした。年代の異なる方達との出会いに、はじめは、とまどいと期待が入り混じっていました。が、実際参加してみると、和やかな雰囲気の中で総会はつつがなく終了し、続く懇親会では、自己紹介で緊張したけれど、後は昔懐かしいお話を聞きたり、長女がお世話になった現向丘の先生方とお話することが出来て、とても楽しいひとときを過ごさせて頂きました。思いきって参加して、よかったと思っています。年齢層はさまざまだけれど、「皆、向丘の同窓なのだ」という思いが仲間意識を育てているのではないかと。今年は校舎も新しくなることだし、同期の人も誘って、又参加したいと思っています。

最後に、向丘高等学校同窓会の益々のご発展を祈念致します。

計報

顧問(元校長)

原 隆男先生(享年八十才)

三月十一日逝去されました。謹んで哀悼の意を表し、お知らせします。

ク
ラ
ブだ
よ
り

向庭会(軟式庭球OB会)

S41年卒 谷嶋二三男

「こおていかい」実に良い名前、ひびきだ、そして向丘高校の庭球クラブという意味も巧く表現していると改めて感心している。三十〜四十年前は平日、週末を問わずOBが大挙してクラブ活動を指導しにきてくれた。夏には合宿まで参加して、指導にあたった。

当時はOBが練習にいたるのが当たり前であつたし、OBを負かす事が目標でもあつた。とにかく、非常に熱心であつたことが記憶に残る。私は、現在でもテニスが十分できるし、現役より強いと自信を持っています。現在のこの体力の基礎はきつと高校時代に培われたものと思われまふ。トレーニング効果の高い高校時代にOBにしごかれたことが大きいようです。練習中は水は飲むな、ウサギ跳びに、腹筋は膝を伸ばしたまま行つ。また、砂利石の上で正座三十分と今からみればでたらめなトレーニング方法です。そのお蔭で、乾きに強く、膝や腰は人一倍丈夫になったのも事実でしょう。このほかにも思い出の多い、向丘高校のテニス部OB会が昨年開催されました。それ以前にも開催されてはいましたが、七期生か

ら十九期生ぐらいまでの集まりでした。今回は七期生から新卒生ぐらゐまで全期生に連絡をとり、一同に和したことはすばらしい。また、卒業後指導した後輩達に三十年以上もたつて会う事ができ感慨深い。会では先輩後輩間で現役時代の恨みつらみや振った振られたと、まあ何とも言えない盛り上がり。某社長の提供で数々の豪華な賞品も用意されました。数万円もするカイトが当たつた先輩おめでとう。また、次回の集まりを楽しみにしております。先輩の方々、また宜しくお願いいたします。

二十八年ぶりに

テニスの仲間達と

S45年卒 宮久保 渡

昨年四月、私にとって卒業後始めてのテニス部のOB会に参加しました。

全体では七十〜八十名ぐらゐの出席で大盛況でしたが、特に想いで深い人達は、同期と一年先輩と後輩で、同期は部員の半数以上の十名が参加しました。

私たちが高校生の当時は、コートが一面しかなく、反面部員は全体で三十〜四十名以上いて一人あたりの練習時間が少ななで朝・昼・放課後時間がある限り練習をしていたことを思い出します。

また、ローラーを引いてのコート整備、雪かき(これが非常に大変)等懐かしきおもひます。

とくに、同期で集まるたびに話題になるのは、『一球に消えた関東大会出場』の件で、二年の時の男子団体戦でベスト8になれば出場できる時に、私達のチー

ムがマッチポイントににぎり、ボレーを決めたと思つた瞬間、相手に拾われ、結局逆転負けをしてしまった試合で、今でもそのシーンを覚えています。

同期の仲間で、引き続きテニスを続けている人も結構おり、私も毎週やっています、多分足が動く限り続けていくつもりです。

機会が有りましたら、OB会・同期の仲間とテニスの大会・合宿でも出来れば楽しいかと思ひます。

今後共、よろしく願ひします。



テニス部OB会 平成9年4月13日【於：楽鴨会館】

演劇部OB会開幕

S27年卒 五條 彰久

平成九年七月十三日、銀座一丁目「がんこ」で、初めての演劇部OB会が開幕された。長田英方先生(旧演劇部顧問)

をはじめ、昭和二十七年卒から三十四年卒までの十四名のそうそうたるメンバーが登場した。とにかく演劇部草創期に活躍したスタッフであり、約四十年ぶりの揃い踏みとなった。

この会が催されたのは、私とコンビを組んで後輩の指導に当たっていた池田晴彦君(二十七年卒)が、平成八年十二月にガンで倒れたのがきっかけだった。私は今年で卒業四十五周年。そろそろ半世紀を迎えようとしているので、お互い元気なうちに一度集まろうと、後輩の気配りで実現した次第である。

今年四月十二日には、卒業四十五周年記念の二十七年卒同期会(四期会)を、お茶の水アスターで開催した。出席者四十四名中男性は四名と、はなはだ淋しい思いをした。しかし、演劇部OB会は、十四名中男性が六名も参加し、役どころには不足はなかった。

演劇部OB会には狂言回し役の三谷一郎君(三十年卒)の滑らかな司会により、全員が昔話と現況の「一人芝居」を演じることとなった。長田先生は、お酒が入ると台詞がエンドレスになるが、観衆のざわめきが聞こえると、バツと話にオチがつくのはさすがの一語に尽きる。永遠に人間の美学を追求している先生は、老いた姿を見せたくない、最初は出席を拒んでいた。しかし「裸の教師」を見せたOB連の中に入ると、懐かしさが先に立ち、昔と変わらぬ笑顔と会話が蘇っていた。

振り返ってみると、私は卒業してから八年間、演劇部OBとして池田君と共に、後輩の指導にあたってきた。その間、昭

和三十三年に私が書いた脚本を長田先生が脚色し、文化祭で上演したこともあった。出席者の顔を見てみると、それがつい昨日のように思えてくる。その演劇を演出したのが、今回出席した昭和三十四年卒の最年少、藤崎(岩田)寿美江さん。当時はよく、演出で涙を流していたが、今回はこわい先輩の顔を見たわけではなく、再会の感激を表現し、可愛い涙を流していたのが印象的であった。

もう一つの思い出は、長田先生をはじめ、池田、磯(三十年卒)両君たちと一緒に、同人雑誌『テアトロン』を発刊したことである。これが異色だったのは、印刷などせず各人が書いた原稿を表紙につけて綴り、回覧したことであった。世の中に一冊しかない同人雑誌である。エッセイ、脚本、演劇論、舞台稽古の感想文など、毎月コツコツ書いたものだ。書く人が少なかつたので、池田君と私は二、三のペンネームを使って毎月苦勞して書いた。しかし、会社勤めが忙しくなり、昭和三十年から三十一年一月までの十三ヵ月続いて休刊となってしまった。

この『テアトロン』は、池田君が保管していたので、彼の死後奥さんに依頼して探してもらい私が一時保管していた。そして今回の演劇部OB会に特別出展し、四十年ぶりに筆者との再会も果たすことができた。

この『テアトロン』には、演劇部に対する若き情熱が凝縮されており、当時を振り返る貴重な資料だと自負している。幸い、同窓会の役員であり、演劇部OBの山本(福永)越子さん(三十一年卒)が、保管のバトンタッチをしてくれ

たので、胸をなで下ろしている。今後は演劇部OB会は毎年開演されることになり、『新テアトロン』発刊の声も聞かれた。この会が続く限り、心の老いは当分入り込む余地はなさそうである。

(H9・7・27記)



演劇部OB会 平成9年7月12日 [於：銀座がんこ]

言葉交わして若返ったひととき

演劇部OB会にて

S28年卒 杉浦(綿貫)多美子
平成九年七月十二日銀座で久しぶりに演劇部OB会があった。四十五年振りに再会という人も有、ちよつと大げさに云えば、生きていればこそその年令になつて来たのです。だのに先輩達の、クラブ、放課後、ファイトしごかれ、涙、あせり等々、まるで足元にルーズソックスの会話であります。目的だの、理想だのと、

白熱してくると、長田先生の声もだんだん大きくなり、皆の姿勢もしゃんとし上向きの顔には、いつの間にかシワ等消え、元気そのものでした。クラブが大体個性的な人達の多い部ですが、自分の言葉でしゃべり、行動が自分の意志でしつかり時代について歩き、話の内容が面白い。離婚、再婚有家庭の苦勞もさぞと思うけど、全然引きずってない、むしろ経験が厚味になり魅力人間を作っている。

「昔の面影を大切にしたいから」と云って欠席した人も居たけど、年令故の魅力も期待して次回はぜひ出席して下さい。

やっと恵まれた母親の実感

すばらしさ!

会計 S59年卒 千田(樋口)二仁江
休職して、やりたいことがいくつあった。

養護教諭として十年間分の資料や記録を整理し、次へのステップにする。引越後もしっかり着こなつた家の中を片付ける。正規の職員採用試験に挑戦する。サボりがちなスポーツクラブで本格的に体を鍛える。たまっていた内田康夫氏の新作を読む。両親を旅行に連れていく。etc……そして、休職の理由とした『未熟な女性機能の本格的治療』

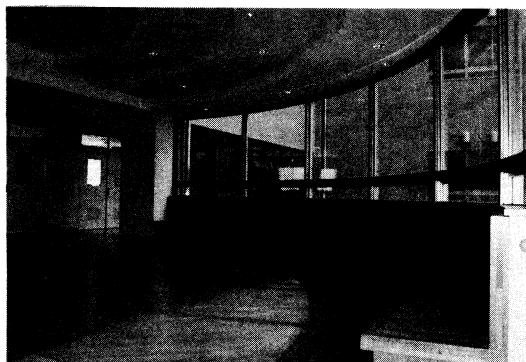
「もったいないわ、仕事を続けながら治療したら？」と、誰もに言われながらも、仕事を言い訳にしてやらなかったことをやるうと意気込んでいた私の心は弾んでいた。ところが……。大好きなビールが美味しくなくなった。引越後の

ごたごたで二ヶ月ぶりとなった基礎体温が初めて高温値を保っている。そう、妊娠したのである。「治療しなくてすみました」子作り宣言から一転、子育て宣言となる。

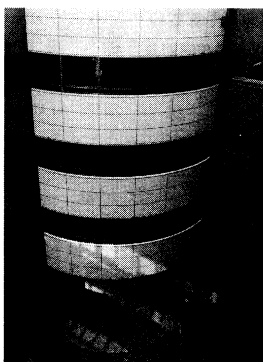
ここから出産までの私の心は、不安定だった。やりたいことが出来なくなる。体は思うように動かない。双方の両親が、待ちに待った初めての孫にかける期待は大きい。妊婦に対する周囲からの助言(あれはだめ、これもだめ、ああしろ、こうしろ……)が多すぎる。その上、無事出産出来なかった同僚の多さ。加えて、夫の不器用ぶり。

今まで妊婦は、幸せを絵に描いたように見えていた。こんなことを思うのは自分だけかと思うと、今度は自己嫌悪。いろいろなことが積み重なって、結局「開き直った」私は、妊婦らしさをなくしたように思う。

少し長かった出産も、生まれた瞬間「わが子との感動の対面」より「やっと終わった安堵感」を味わった。母親になった自覚がない。これはまずいと思ったが、母子同室になってから私は変わった。わが子が寝ているときも起きていたときも、穏やかな幸せを感じている。やりたかったことなどすっかりどうでもよくなり、いつかまた出来るときにやるさと思っている。二人目も授かることが出来るならすぐにでもとさえ考えている。妊娠中の不安定な心も、出産時の痛みも忘れてしまふものらしい。ただ、次の子どもは母親似であつて欲しい。贅沢な望みを、大きな長男とまだ四ヵ月の本物の長男を見比べながら密かに抱く。



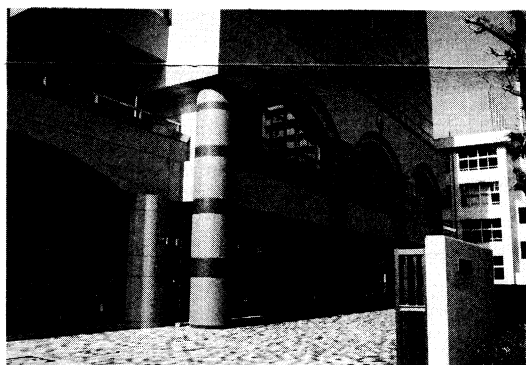
ふれあいホール（各階）



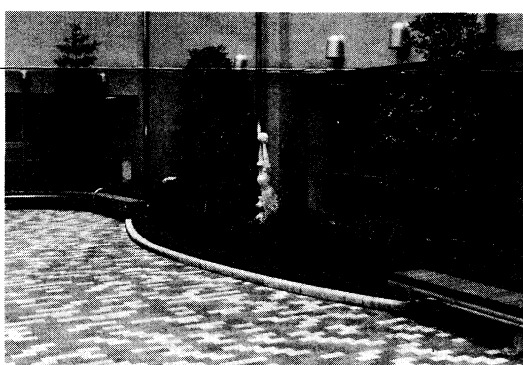
ふれあいホール（外観）

新◆校◆舎

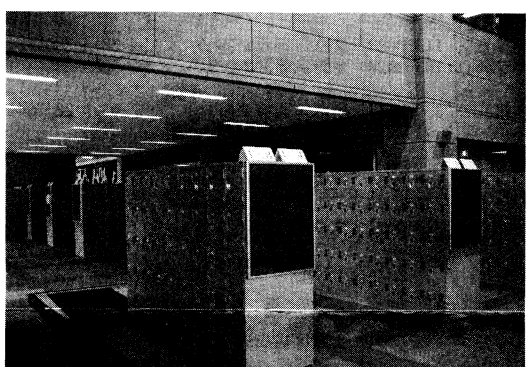
あ
ら
か
る
と



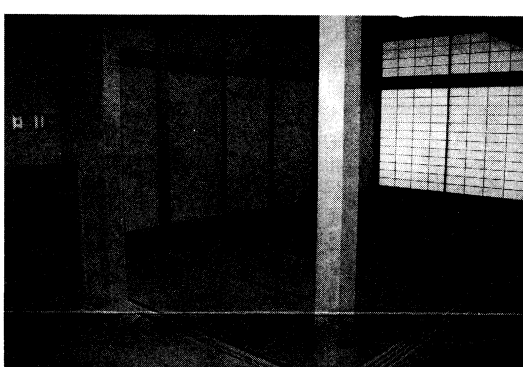
正面入口



中庭モニュメント



生徒正面入口



和 室



1階エレベータホール



モザイクタイル壁画

●平成8年度会計報告及び平成9年度予算案●

都立向丘高等学校同窓会
平成9年3月31日現在

区 分	8年度決算 金 額	9年度予算 金 額
収 入 の 部		
入会金 (255名)	1,530,000	1,500,000
年 会 費	528,000	400,000
総会費 (当日分)	171,000	100,000
雑収入 (利息他)	1,779	500
名 簿 売 上	4,000	6,000
前年度繰越金	950,204	1,246,733
収 入 合 計	3,184,983	3,253,233
支 出 の 部		
交 通 費	27,490	40,000
通 信 費	49,850	60,000
会 議 費	33,150	60,000
総 会 費	357,786	250,000
渉 外 費	45,206	50,000
慶 弔 費	10,000	10,000
研 究 費	39,395	50,000
振 興 費	25,280	60,000
会 報 費	1,137,510	1,250,000
雑 費・予 備 費	12,583	120,000
周年事業準備費	200,000	300,000
支 出 合 計	1,938,250	2,250,000
次年度繰越金	1,246,733	1,003,233
周年事業積立金	1,000,000	1,300,000

上記の通り収支報告申し上げます。

平成9年4月29日

同窓会会長 小川 力洋◎
会 計 荒川 雅司◎
千田二仁江◎
尾道 郁代◎

監査の結果誤りの無いことを認めます。

平成9年4月26日

会計監査 石山彼早子◎
寺村 光司◎

▼あとかき金

ご多用中、各位のご寄稿—お便り、大変ありがとうございます。今後、皆様からのご激励、ご協力により、お育て頂きたく願います。

今回は住所が確認されている方（八千九百余名）のみを対象に送付致しました。

又、四大新聞社への掲載も依頼しました。友人で未着の方がおりましたら、会長宅宛お申し出下さい。即送いたします。

広報委員会

●同窓会役員名簿●

顧問 石 章二郎 歴代校長
佐々木益男
藤黒 正明
金井 量二
原 隆男
平塚寛次郎
新城 昇
池永 武昭
北村 透

名誉会長 北村 正生 校 長
参 与 島貫 範雄 事務長
須永 孝 教 頭
水山 清
渡辺 節子
鳥居 雄司
西湖 知
柿倉 昌信
田嶋 昌治
千葉 豊
佐々木 巧
岡田 恵吾 事務局担当教諭
川原 博義
小川 雅子
古田 真
宮城 晴耕
堀川 恵子
(旧姓 平松)

会 長 小川 力洋 (31年卒)
副 会 長 三田 昌男 (31年卒)
杉浦 重治 (40年卒)
会 計 荒川 雅司 (30年卒)
尾道 郁代 (41年卒)
(旧姓 大橋)
千田二仁江 (59年卒)
(旧姓 樋口)
書 記 山本 越子 (31年卒)
(旧姓 福永)
石井満喜子 (42年卒)
(旧姓 奥山)
会計監査 石山彼早子 (34年卒)
(旧姓 佐伯)
寺村 光司 (37年卒)
相 談 役 清水克多郎 (48年卒)



《編集委員》

左から
三田副会長
千田会計
尾道会計
長谷川委員
小川会長
杉浦委員
宮久保委員
石山会計監査
原田委員

【問い合わせ先】

五 島 珠 江 (耀)
〇三三九四二一〇八六三

日時 平成十年四月二十九日(祝)一時
場所 都立向丘高校新校舎会議室
会費 三千円 (同窓会参加費)
詳細は往復ハガキでご連絡します。

昭和二十八年卒双葉会のお知らせ

四月二十九日の向丘高校同窓会の開催日(毎年)に合せて同期会を開きます。久し振りの母校訪問、皆様お誘い合せご参加下さい。

《問い合わせ、連絡先》

事務局(向丘高校内) TEL.3811-2022・FAX.3812-4055 小川会長宅TEL.3893-9792・FAX.3893-9793